

千葉市在宅医療・介護連携支援センター

つなが～る通信 Vol.3



みなさん、こんにちは

新型コロナウイルスの発生から約1年がすぎ、本当に今までの生活様式が一変した1年ですね。今まで2回の緊急事態宣言が発令されてから、各事業所や施設はクラスターにならないように対策をして大変な日々を送っていると思います。ワクチン接種も市内の病院の医療関係者から少しずつ接種が始まったようですが、私たちは具体的にいつ頃になるのか心配が絶えませんね。そして東京オリンピック・パラリンピックの開催も気になるところですね。このニュースも目が離せません。

昨年は色々な会議、研修が中止になったり、延期になったり、オンライン開催になったりと、環境も大きく変化した1年でした。令和2年度の1回目の各区の多職種連携会議は中止となり、2回目の多職種連携会議はZOOMを利用して少しずつ開催しています。他にもICTを活用した研修の運営支援をしています。ZOOM研修の参加方法やホストの仕方などを含め、今後研修の企画や参加を考えているという方はどうぞご相談ください。ZOOMのプロではありませんが、少しずつ蓄積してきた情報を皆さんにも提供していきたいと考えております。

ICTを活用した研修の紹介をします

1：令和2年11月14日（土）

令和2年度 千葉市終末期ケア講演会の

WEBセミナーを開催しました。千葉市民会館の小ホールでの講演の様子をZOOMを利用して同時に配信しました。テーマは施設での看取りについて、実際に看取りをしている施設の方に事例を紹介していただきました。

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/kenkofukushi/renkeicenter/documents/syumatuki.pdf>



2：令和2年11月30日（月）

千葉市在宅医療推進連絡協議会主催で「意思決定支援ガイドライン基礎研修」を開催しました。弁護士の水島先生の講演ですが、先生は埼玉からZOOMを利用し配信し、研修を行いました。この研修ではグループワークは行いませんでしたが、ZOOMでもグループワークもできるので是非機会があれば参加してみてください。研修の内容は動画で見ることができます。こちらも是非ご覧ください

<https://www.youtube.com/watch?v=wBAj8UJ5hjs>



相談内容について（その1）

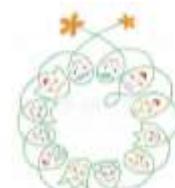
～ある区のあんしんケアセンターから～
病院の地域連携室から「介護保険の申請書を持ってきてください」とたびたび連絡が来ていました。今までには申請書を持っていきながら、もうすぐ退院予定の患者さんの情報収集も兼ねていました。現在コロナの為、病院の面会は基本的には中止状態にもかかわらず、地域連携室からは申請書を持ってきてくださいと頼まれるそうです。面会もできず病院の受付に置いてくるだけです。地域連携室にはダウンロードしてくださいと頼むけれども、やっぱり電話が来るそうです…介護保険の申請書だけでしたら誰でもダウンロードできますので、こちらをご活用ください。

令和3年3月発行



地域の活動紹介コーナー(Vol.1)～在宅事務連携会)

在宅事務 連携会



在宅事務連携会 ロゴマーク

相談内容について（その2）

～千葉市障害者基幹相談支援センターから～
千葉市障害者基幹相談支援センターが令和2年10月に各区に1か所ずつ開設しました。このセンターは障害のある人及び家族等が対象で、年齢、障害の種別、障害の診断の有無は問われない相談支援センターです。ある区の障害者基幹相談支援センターから、障害のある女性の婦人科受診について相談がありました。障害者の母親も女性の医師がいいのではないか、どのような検査をするのかなど心配している、どこに受診したらいいかと相談を受けました。

千葉市障害者基幹相談支援センターについてはこちらをご覧ください

[千葉市：千葉市障害者基幹相談支援センター \(city.chiba.jp\)](http://www.city.chiba.jp)



千葉市入退院支援の手引きを作成しています

千葉市では入退院の際に病院と介護事業者が協働し情報共有を行うことで、サービス、支援を要する高齢者が安心して暮らせるように、医療と介護の連携を推進していきたいと考えています。新たに資格を取得したケアマネジャーや病院の地域連携室に配属になったスタッフの方々に特に活用していただきたいと思って作成しました。作成には、医師、病院の地域連携室、急性期だけでなく回復期、医療療養、地域包括ケアを担っている病院、ケアマネジャー、訪問看護ステーション、施設の相談員など多職種と話し合いを持ちながら作成しました。ぜひ利用してみてください。
近日発行します。

この会は、在宅支援に携わる多職種の事務員が中心となり、在宅事務ならではの特殊な業務について、多職種からの意見が聞けるのが特徴です。2017年に発足して以来、在宅療養支援診療所を始め、訪問看護ステーション、調剤薬局、病院の地域連携室など、多くの皆様にご参加いただいております。事務員も在宅療養状況を多面的に捉えることで、日頃のよりスマーズな連携に繋がると考えています。

【主な活動内容】

- ①顔の見える関係作りを目的に、グループワークで実務における相談・解決（オンライン開催も実績あり）
 - ②診療・介護報酬算定スキルアップを目的に、定期的に勉強会を開催
 - ③メンバー同士でタイムリーな情報共有を目的に、SNSグループを立ち上げ情報交換
- ご興味・参加希望の方は、下記までご連絡ください。
★事務局：黒砂台診療所 平井 TEL043-441-5312★
Facebook『在宅事務連携会』でも詳しい活動内容を掲載しております。ぜひご覧ください♪

千葉市在宅医療・介護連携支援センター

千葉市美浜区幸町1-3-9

TEL: 043-305-5026

FAX: 043-305-5079



renkeicenter.HWH@city.chiba.lg.jp

<https://www.city.chiba.jp/hokenfukushi/kenkofukushih/renkeicenter/index.html>